

自転車旅 最終ステージに向けて

今日、11月9日の誕生日を迎えて、後期高齢者となった。その名の通り高齢者の中でも後期に入り、言葉のニュアンスから、否応にも人生の残りが少ないという感覚になる。

2003年に退職後、車での日本一周を果たしたが物足りず、翌年の2004年には、自転車での日本一周を達成出来た。

これ以来、旅が人生後半の人生の生きがいとなった。旅でお世話になったお返しにと、ゲストハウス「自遊旅」を主宰し、多くの旅人も受け入れて来た。

自転車旅も単に観光地を回る旅から、古道や旧道を踏破する旅に変わり、熊野古道や千国街道を踏破した。

その旅もさらに内容を変え、ストーリー性のある旅を目指す事になり、「土方歳三の進攻した道」を冬期踏破、「イザベラバードの日本奥地紀行」を旅し、太宰治の小説「津軽」を旅するなど、幕末や明治に旅した人の足跡を追う旅をしてきた。

しかし、ここ数年はストーリー性のある旅も疎遠になっていた。

現在資料収集を終えているのは「徳川幕府奥詰医師、渋江長伯の足跡を巡る旅」であるが、毎年実行を考えているが、達成出来ずにいる。日本橋から根室までの長期旅は難所の峠も多い。

今年も行く準備までは整えたが、気力が今一つ起きてこなかった。

現在の活動状況は、青森ねぶた参加と大曲花火の観賞である。何れも自転車で走る距離としては短く、期間も短い事もあって、旅の感覚は薄くなり、イベントに自転車に参加すると言った感じになっている。

現在の明確な目標は82歳で大曲花火大会に自転車野宿旅で行く事である。大曲花火大会100回記念に合わせた目標だが、達成すれば六郷の仲間に出会う最後の旅になるだろう。

目標は掲げているが、果たして82歳で自転車旅が出来るのだろうか？ それも野宿旅で・・・全く自信は無いが、目標に向かって頑張ろうと思っている。

それでは75歳から82歳まではどうするのか？ 今のままだと青森ねぶたと大曲花火大会に行く事しか明確な目標は無い。

そんな現状にもう一度、日本を回りたいと思う様になった。

ただ一度に日本一周をするには資金、体力、気力で自信が無い。

そこで分割日本一周を考えてみた。

2年に一度、各地を回る計画だ。時季は3月から4月が過去にも殆ど大きな予定が無い。丁度桜の時期と言うのも明るい気持ちになれる。2年前の東北の桜巡りも良い旅だった。

- 2019年（76歳） 四国一周（お遍路で回ったが、それ以外は殆ど回っていない。四万十川は気に入っているのでゆっくりしたい。桜見学も丁度良い時期になる）
- 2021年（78歳） 中国・九州一周（特に日本一周で一番印象的だった屋久島に長期滞在したいし、九州の内陸も重点的に回りたい。中国地方では毛利家の藩地である萩ももう一度、じっくり見たい。）
- 2023年（80歳） 東北一周（秋田までは相当走っているが、南の方はあまり走っていないので、そこを中心に走る。桜の時期に回りたい）
- 2024年（80歳） ゲストハウス「自遊旅」営業終了。
- 2025年（82歳） 北海道（前年にはゲストハウスも営業が終わり、最後に旅するのは地元北海道にする。これで自転車旅を終える。）
- 2025年（82歳） 自転車旅の最終ステージは、既に目標にしている大曲花火大会100回記念に行く。花火観賞より、六郷の仲間に会いに自転車で行く。

近々については自転車野宿旅の出来る可能性は大きいですが、先については全く予測が付かない。その歳になって見ないと分からない。

計画に対して確たる自信が無いし、高齢における体力・気力は未知の世界だ。

病になるかも知れないし、自転車に乗れているかも知らだない。

しかし、目標を立てる事により、少しでも目標達成への気力を充実させて生きて行くのも人生だろう。

費用は少ない毎月の小遣いを少しでも蓄えて、旅中の生活費は家で生活する分の費用を援助して貰う。貧乏旅はあまり負担にはならない。

最近は日々生活に追われている比率が高い生き様になっている。これに人生最後の夢を加えたい。

82歳野宿チャリダーを目指して・・・。

誕生日に考える

2018年11月9日

旅人 も～さん